

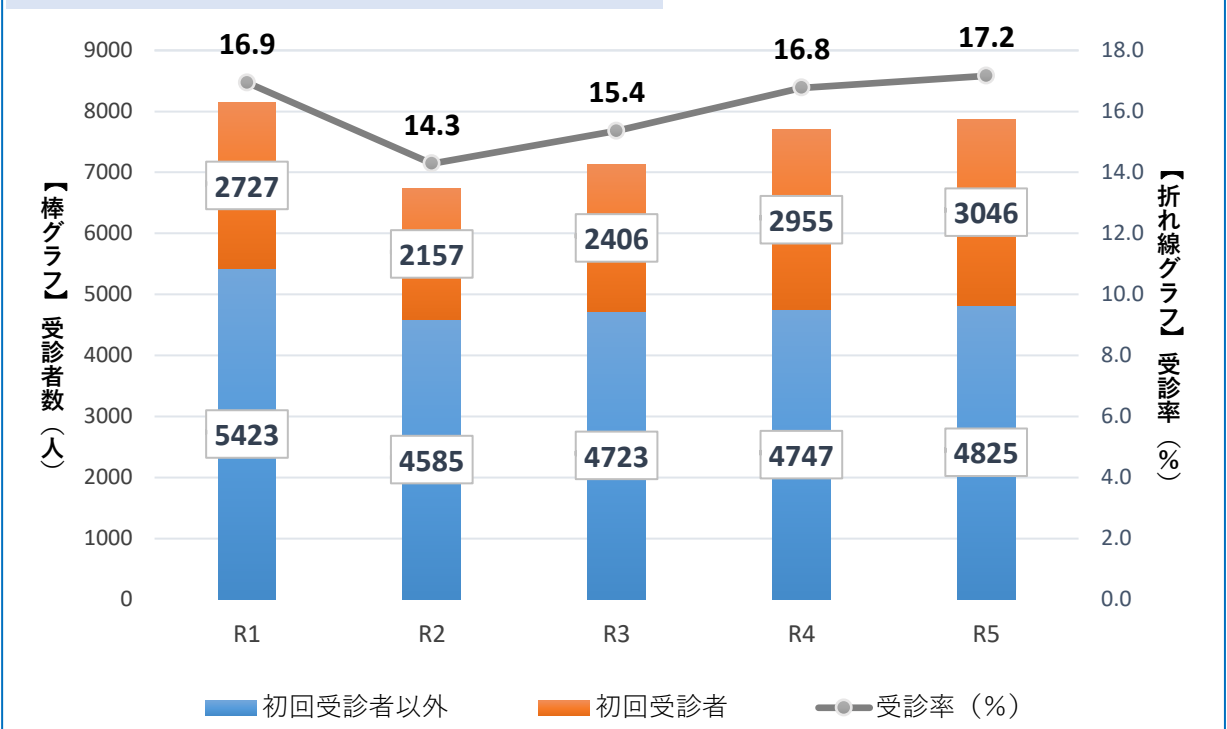
大津市大腸がん検診 令和5年度の実績報告

1. 受診状況の推移

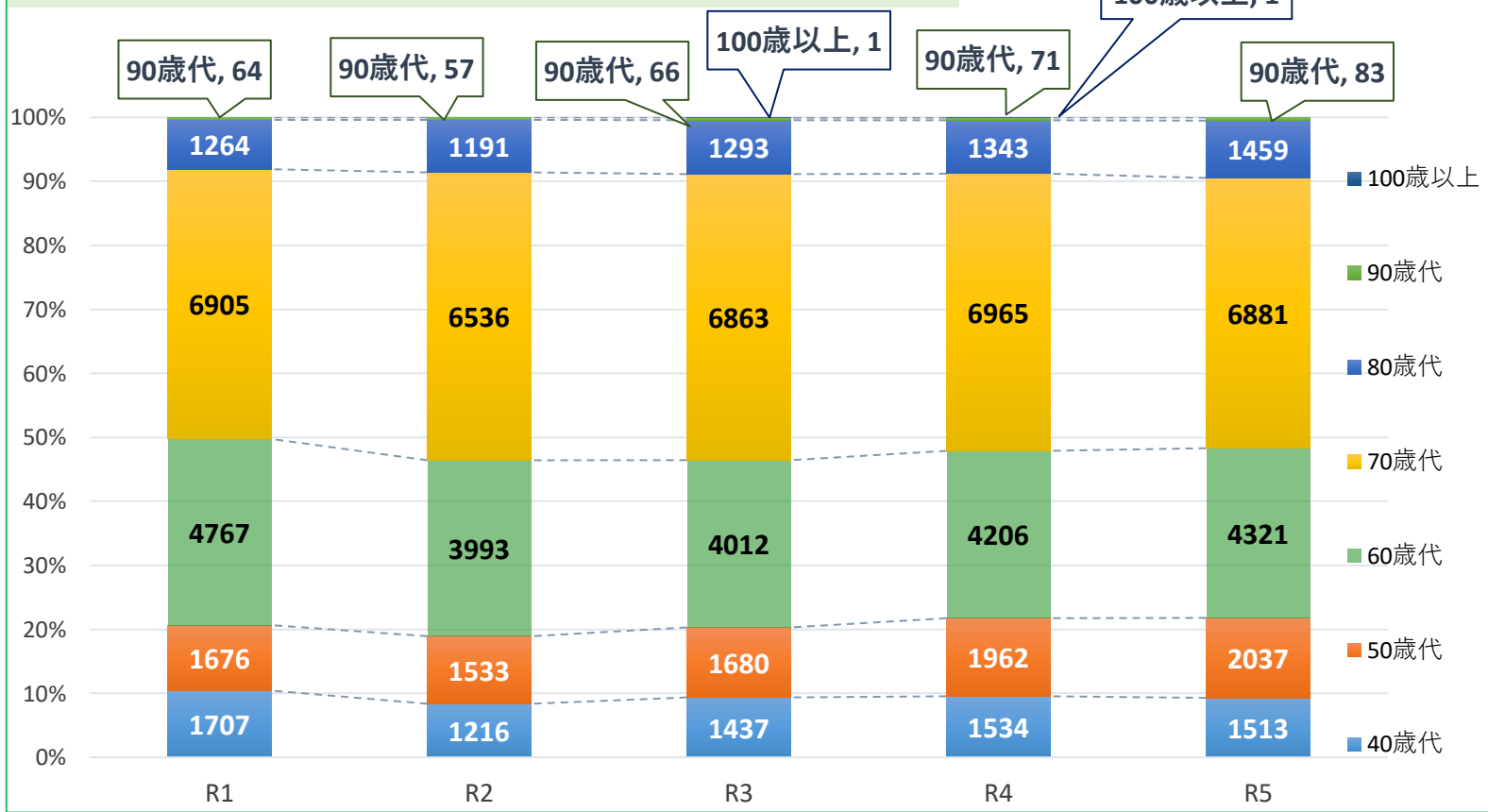
大津市消化器がん検診協議会	
2025/3/6	資料1-1

【表1】	全年齢						(再掲) 69歳以下					
	R1	R2	R3	R4	R5	(旧)許容値	R1	R2	R3	R4	R5	(新)許容値
対象者数	108,101	110,035	111,709	108,883	109,978		48,098	47,190	46,408	45,920	45,857	
受診者数	16,383	14,527	15,352	16,081	16,294		8,150	6,742	7,129	7,702	7,871	
(再掲)初回受診者数	4,022	3,464	3,937	4,609	4,802		2,727	2,157	2,406	2,955	3,046	
受診率(%)	15.2	13.2	13.7	14.8	14.8		16.9	14.3	15.4	16.8	17.2	
要精検者数	989	907	814	815	883		397	337	307	317	345	
要精検率(%)	6.0	6.2	5.3	5.1	5.4	7.0%以下	4.9	5.0	4.3	4.1	4.4	6.2%以下
精検受診者数	862	809	731	757	812		342	303	274	287	314	
精検受診率(%)	87.2	89.2	89.8	92.9	92.0	70.0%以上	86.1	89.9	89.3	90.5	91.0	90%以上
がん発見者数	36	29	34	52	48		13	7	13	14	15	
がん発見率(%)	0.22	0.20	0.22	0.32	0.29	0.13%以上	0.16	0.10	0.18	0.18	0.19	0.16%以上
陽性反応的中度(%)	3.6	3.2	4.2	6.4	5.4	1.9%以上	3.3	2.1	4.2	4.4	4.3	2.6%以上

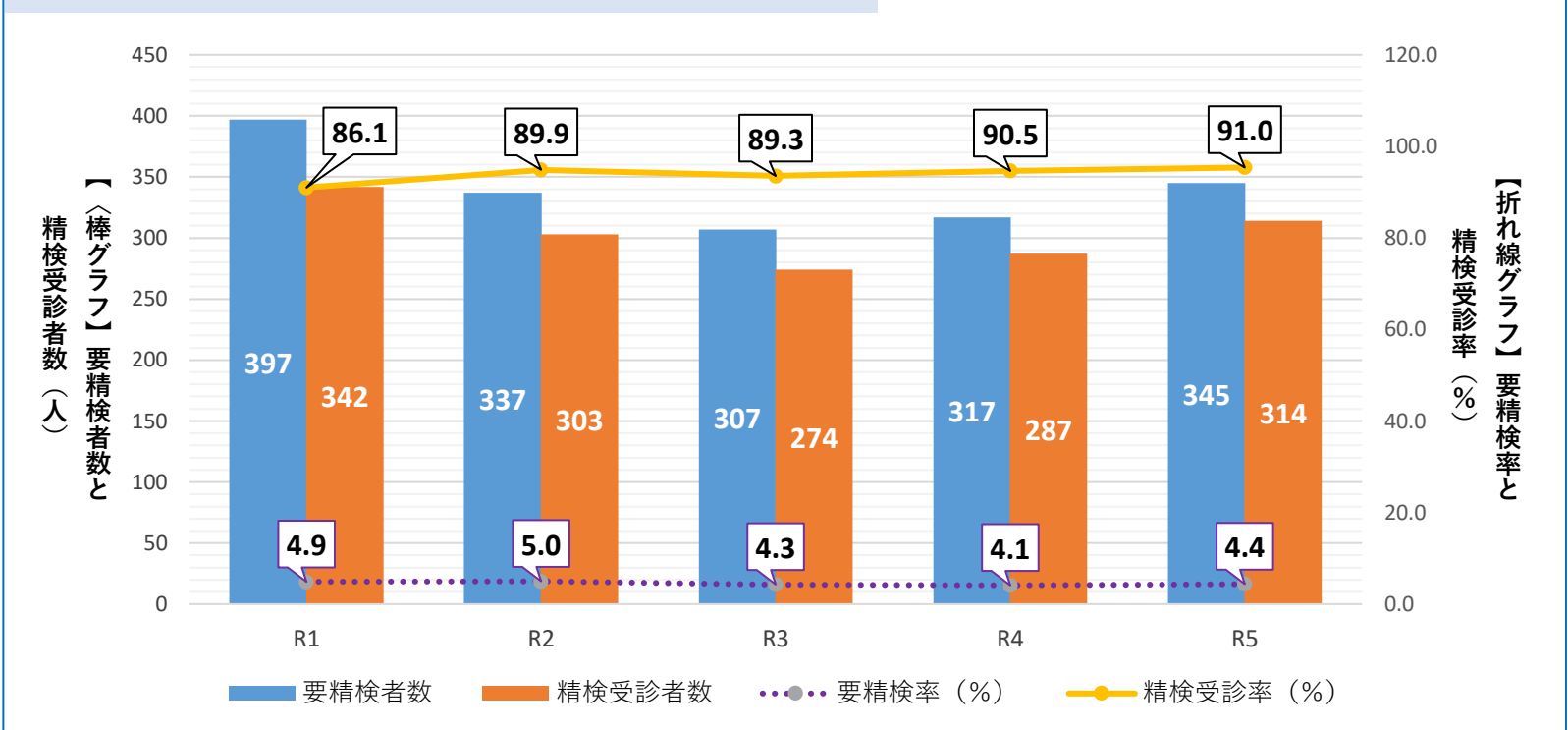
【図1】受診者数と受診率の推移※69歳以下



【図2】年代別受診者割合の推移※グラフ内の数字は受診者数 (人)



【図3】要精検者数(率)・精検受診者数(率)の推移※69歳以下



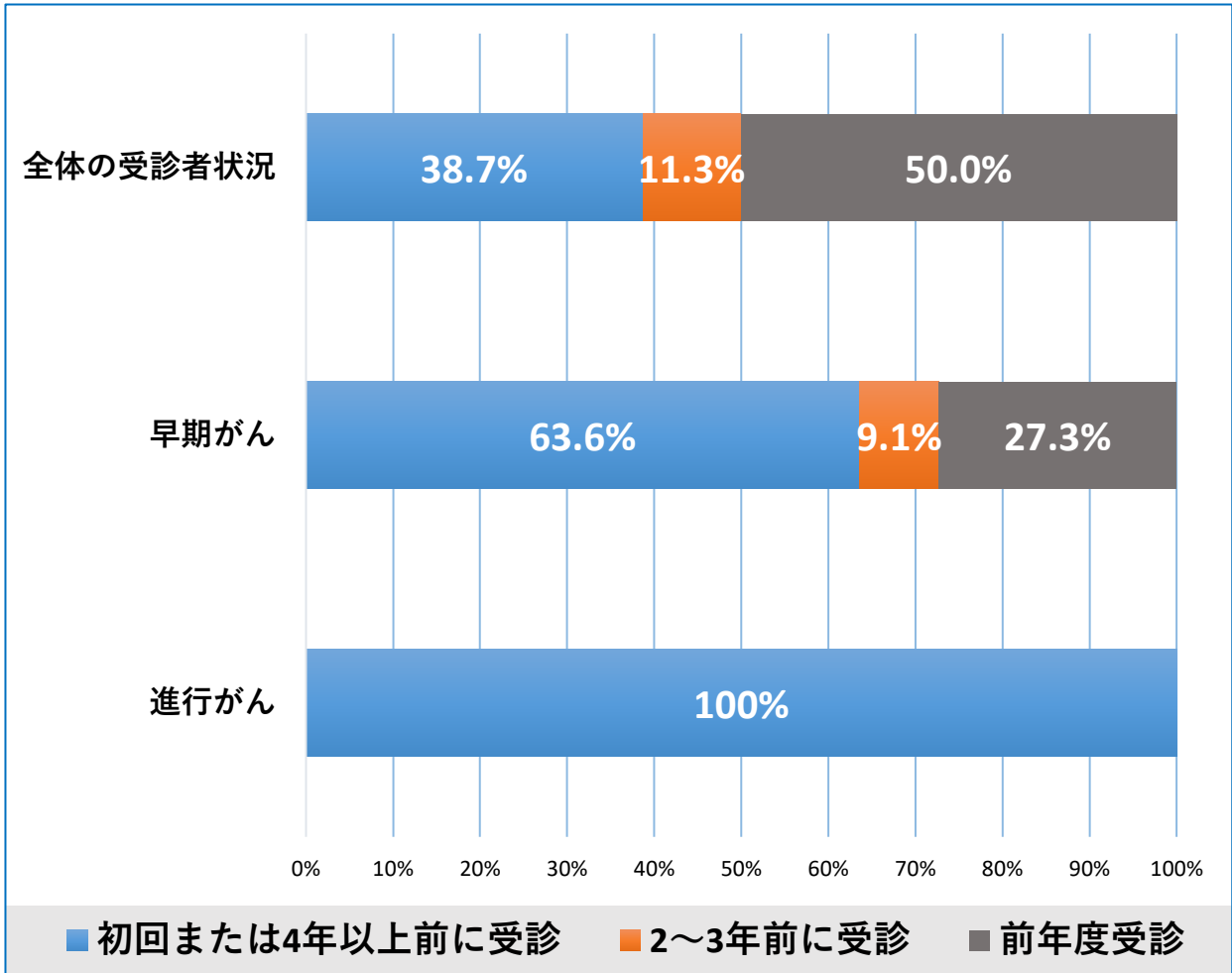
1.受診状況の推移について

- ・ 受診率は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度から回復し、令和5年度は新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年度より受診率が伸びた。（表1、図1）
- ・ 初回受診者（過去3年受診歴が無い人）の増加が続いている（R5：全年齢29.5% 69歳以下38.7%）。（表1__黄緑色塗りつぶし枠内）
- ・ 年代別受診者数の分布は大きな変化が無く、職域などでの受診機会が無くなる60歳以上の受診者が全体の8割弱を占めている（図2）
- ・ 要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度のプロセス指標（新基準：69歳以下）は、令和5年度において全て許容値を満たしており、精検受診率、がん発見率は向上した。（表1、図3）

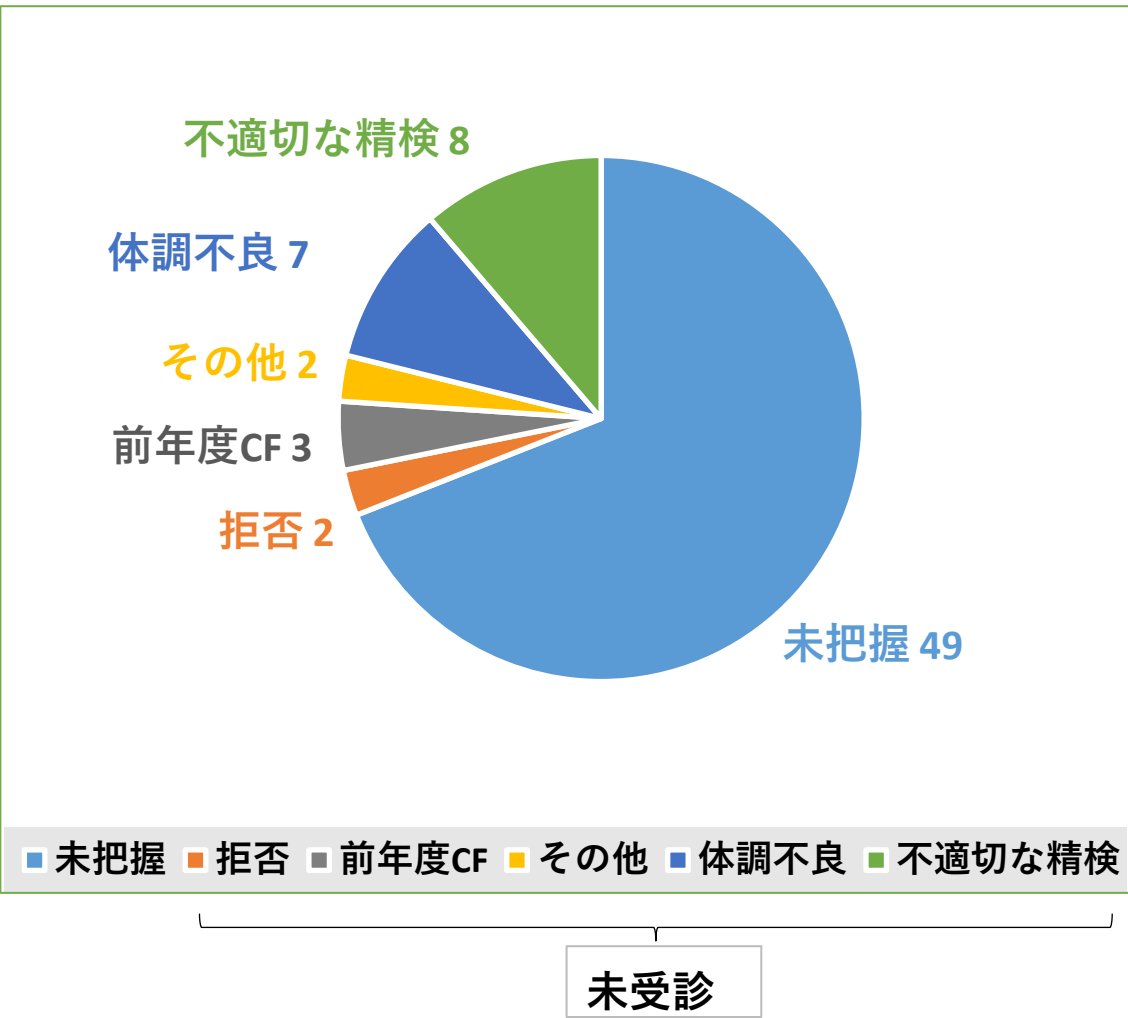
【表2】

			全年齢			40～69歳			許容値	40歳代			50歳代			60歳代			70歳代			80歳代			90歳以上			
			総計	男	女	総計	男	女	40-69歳	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	
受診者数（人）			16,294	6,006	10,288	7,871	2,521	5,350		1,513	472	1,041	2,037	621	1,416	4,321	1,428	2,893	6,881	2,795	4,086	1,459	649	810	83	41	42	
要精検者数（人）			883	413	470	345	134	211		70	18	52	84	32	52	191	84	107	413	216	197	115	57	58	10	6	4	
要精検率（％）			5.4	7	5	4.4	5	4	6.2%以下	4.6	3.8	5.0	4.1	5.2	3.7	4.4	5.9	3.7	6.0	7.7	4.8	7.9	8.8	7.2	12.0	14.6	9.5	
精検受診者数（人）			812	376	436	314	120	194		63	15	48	74	28	46	177	77	100	392	202	190	101	49	52	5	5	0	
精検受診率（％）			92.0	91.0	92.8	91.0	89.6	91.9	90%以上	90.0	83.3	92.3	88.1	87.5	88.5	92.7	91.7	93.5	94.9	93.5	96.4	87.8	86.0	89.7	50.0	83.3	0.0	
精 検 結 果	異常なし		138	38	100	86	16	70		26	6	20	19	3	16	41	7	34	42	16	26	9	5	4	1	1	0	
	がん	早期	26	11	15	11	5	6		0	0	0	2	1	1	9	4	5	9	2	7	6	4	2	0	0	0	
		進行	22	14	8	4	3	1		1	0	1	0	0	0	3	3	0	13	9	4	5	2	3	0	0	0	
		進行期不明	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大腸がんの疑いのある者 または未確定		13	4	9	3	1	2		0	0	0	0	0	0	3	1	2	4	2	2	6	1	5	0	0	0	
	大腸 がん 以外 の疾 患で あっ た者	ポリープ（腺腫性）	437	227	210	137	64	73		22	4	18	37	18	19	78	42	36	244	133	111	53	27	26	3	3	0	
		ポリープ（過形成性）	40	16	24	18	5	13		4	1	3	3	0	3	11	4	7	18	7	11	4	4	0	0	0	0	
		ポリープ（その他）	17	7	10	7	3	4		1	0	1	1	1	0	5	2	3	8	3	5	2	1	1	0	0	0	
		潰瘍性大腸炎	3	1	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	1	0	0	0	
		クローン病	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		炎症性腸疾患（その他）	4	2	2	2	2	0		0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		憩室	51	27	24	17	9	8		6	3	3	3	1	2	8	5	3	25	15	10	8	2	6	1	1	0	
		痔核	47	24	23	23	10	13		3	1	2	7	4	3	13	5	8	19	11	8	5	3	2	0	0	0	0
		その他の疾患（転移性 の大腸がんを含む）	14	5	9	6	2	4		0	0	0	2	0	2	4	2	2	6	3	3	2	0	2	0	0	0	0
未受診（人）			22	7	15	9	2	7		1	1	0	5	1	4	0	0	3	3	1	2	6	3	3	4	1	3	
未把握（人）			49	30	19	22	12	10		6	2	4	5	3	2	11	7	4	18	13	5	8	5	3	1	0	1	
がん発見者数（人）			48	25	23	15	8	7		1	0	1	2	1	1	12	7	5	22	11	11	11	6	5	0	0	0	
がん発見率（％）			0.29	0.42	0.22	0.19	0.31	0.1	0.16%以上	0.10	0.00	0.10	0.23	0.16	0.07	0.66	0.49	0.17	0.66	0.39	0.27	1.54	0.92	0.62	0.00	0.00	0.00	
早期がん発見の割合（％）			54.2	44.0	65.2	73.3	62.5	85.7		0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	75.0	57.1	100.0	40.9	18.2	63.6	54.5	66.7	40.0	0.0	0.0	0.0	
陽性反応的中度（％）			5.4	6.1	4.9	4.3	6.0	3.3	2.6%以上	1.4	0.0	1.9	2.4	3.1	1.9	6.3	8.3	4.7	5.3	5.1	5.6	9.6	10.5	8.6	0.0	0.0	0.0	

3 令和5年度のうちがん発見者の過去の大腸がん検診受診状況
【図4】（69歳以下）



4 令和5年度精検未受診・未把握の理由
【図5】（全年齢）



2. 受診者の精密検査の状況について【表2】

- ・要精検者数883人中、精密検査を受診した人は812人で、92%の受診率であった。
- ・40歳代・50歳代の若年層の精検受診率が80%台であった。
- ・精検受診者のうち”がん”は48人で早期がんは26人、進行がんは22人であった。
- ・60歳代、70歳代のがん発見が、全体の25%、45.8%を占めていた。また、70歳代では進行がんで発見されている方が多かった。

3. がん発見者の大津市大腸がん検診受診状況について【図4】

- ・全体の5割が前年度に受診していた。がん発見者の受診間隔をみると、早期がん発見者は63.6%が初回または4年以上前に受診、進行がんに至っては、100%が初回または4年以上前に受診という状況であった。

4. 精検未受診・未把握の理由について【図5】

- ・「不適切な精検」では、精密検査として認められていないCT検査や便潜血の再検査をしている事例があった。
- ・「その他」では、精密検査を受けずに次年度も便潜血検査を受診された方がいた。
- ・「未把握」には、詳細が全く不明である方や、紹介や予約をしたが受診なしの方、一次検診機関の時点で本人拒否された方などのその後の受診の有無が正確に把握できていない方が含まれている。

令和6年度送付 肝炎無料クーポン券・大腸受診券
(一部自己負担有) 【見本】

大津市消化器がん検診協議会

2025/3/6

資料 1-3

送付対象年齢：＜年度年齢＞40歳…全員

41歳、46歳、51歳、56歳、61歳…過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

送付時期：令和6年6月

〒 住所 氏名 カスタマーバーコード クーポン券番号	(案) 令和6(2024)年度 大津市肝炎ウイルス検診無料クーポン券・ 大津市大腸がん検診受診券送付のお知らせ ＜問合せ先＞ 〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津2階 大津市保健所健康推進課 電話：077-528-2748
今年度40・41・46・51・56・61歳になる方に、下記のとおり「大津市肝炎ウイルス検診無料クーポン券」と「大津市大腸がん検診受診券」をお送りしました。	
肝炎ウイルス検診について ●検診内容：血液検査（B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス） ●持 ち 物：無料クーポン券と健康保険証等* ●申込方法：別紙の実施機関に直接お問い合わせください。 ※過去にB型・C型肝炎ウイルス検診（大津市が実施するものに限りません）を受けたことがある方は、この検診を受けられません。 ※B型・C型肝炎ウイルスは、感染すると肝硬変や肝がんへと進展する場合が多く、進行しても自覚症状が出にくいことも特徴です。 一生に一度、肝炎ウイルス検診を受けましょう。	大腸がん検診について ●検診内容：便潜血検査（2日分の便を採取） 有効期限内に2日分の便を提出してください。 ●持 ち 物：受診券、健康保険証等*、検診料800円 ※生活保護世帯等の、市民税非課税世帯の人、大津市国民健康保険加入者は無料。 ●申込方法：別紙の実施機関に直接お問い合わせください。 ※検診対象外の場合があります。 ※検診の結果が、<u>要精密検査の場合は、必ず精密検査を受けてください。</u> 精密検査の第一選択は、全大腸内視鏡検査です。 大津市大腸がん検診は、一年度に1回受診できます。
*健康保険証、マイナ保険証、資格確認証など 《切 取 無 効》 ※ クーポン券の氏名、生年月日、住所を記入して、切り取らずにこのまま実施機関にお持ちください。	
大津市肝炎ウイルス検診無料クーポン券 有効期限：令和7(2025)年3月31日  大津市長 ＜問合せ先＞ 大津市保健所健康推進課 電話 077-528-2748	「大津市肝炎ウイルス検診無料クーポン券・大津市大腸がん検診受診券送付のお知らせ」のオモテ面とウラ面の注意事項を確認したので、この券を利用します。 クーポン券番号 整理番号 交付年月日 令和6年5月31日 氏 名 <u>別名本人のみ有効</u> 生年月日 年 月 日 住 所 大津市
大津市大腸がん検診受診券 有効期限：令和7(2025)年3月31日 検診料 800円 生活保護世帯等の、市民税非課税世帯の人、大津市国民健康保険加入者は無料  大津市長 ＜問合せ先＞ 大津市保健所健康推進課 電話 077-528-2748	「大津市肝炎ウイルス検診無料クーポン券・大津市大腸がん検診受診券送付のお知らせ」のオモテ面とウラ面の注意事項を確認しました。 なお、この検診の結果が要精密検査の場合は、全大腸内視鏡検査を受けることに同意し、この券を利用します。 受診券番号 整理番号 交付年月日 令和6年5月31日 氏 名 <u>別名本人のみ有効</u> 生年月日 年 月 日 住 所 大津市

令和6年度送付 がん検診受診券（一部有料負担有）

【見本】

送付対象年齢：50歳、54歳、60歳、64歳、68歳

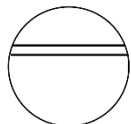
送付時期：令和6年6月

大津市消化器がん検診協議会

2025/3/6

資料 1-4

(表)



親 展

住所
方書
氏名

宛名印字

券番号

カスタマーコード

【問合せ先】

大津市保健所健康推進課
大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津2階
電話 077-528-2748

← がん検診に関する大切なお知らせです。
内容を確認してください。

令和6（2024）年度

大津市胃がん検診受診券

胃部エックス線検査 または 胃内視鏡検査
どちらか1回のみ有効

胃部エックス線検査 約7,200円 → 検診料1,600円
胃内視鏡検査 約16,000円 → 検診料4,000円
※氏名・生年月日・住所を自署してください。

氏 名

生年月日

住 所 大津市

受診券番号 E00001～ 整理番号 健管番号
交付年月日 令和6年 5月 31日
有効期限 (胃部エックス線検査) 令和6年度実施分終了まで
(胃内視鏡検査) 令和7年3月31日 大津市長

検診料について

大津市国民健康保険加入者、65～69歳の後期高齢者医療制度加入者、70歳以上の人、生活保護世帯等の人、市民税非課税世帯の人は検診料無料です。「大津市肺がん結核検診」については、65歳以上の人は胸部エックス線検査のみ無料です。

<今年度 50・54・60 歳になる方へ>

胃がんリスク検診をご存知ですか？

胃がんになるリスクが高いかを血液検査で判定する、**一生に一回の検診**です。まだ受けたことがない40～60歳の方が受診できます。
(症状等により、検診対象外の場合あり)
検診料は1,300円。**受診券が必要です**。受診券発行は上記QRコードまたは電話で健康推進課(528-2748)へ。

QR

令和6（2024）年度

大津市大腸がん検診受診券

約3,000円 → 検診料800円
※氏名・生年月日・住所を自署してください。

氏 名

生年月日

住 所 大津市

受診券番号 E00001～ 整理番号 健管番号

交付年月日 令和6年 5月 31日

有効期限 令和7年 3月 31日 大津市長

※有効期限内に2日分の便を提出してください。

令和6（2024）年度

大津市肺がん結核検診受診券

胸部エックス線検査 約3,000円 → 検診料800円
喀痰細胞診(該当者のみ) 約4,000円 → 検診料1,000円
※氏名・生年月日・住所を自署してください。

氏 名

生年月日

住 所 大津市

受診券番号 E00001～ 整理番号 健管番号

交付年月日 令和6年 5月 31日

有効期限 令和7年 3月 31日 大津市長

(裏)

大津市がん検診について

各種がん検診の詳細内容については、**ホームページ**等にも掲載しています。

ホームページへはこちらから！

大津市HP



大津市情報配信サービスについて



各種検診の
お知らせ
メール配信

大津市公式
LINE

大津市では、がん検診をはじめとしたさまざまな情報を**メール配信サービス**や**LINE**でお知らせしています。
ぜひ登録ください。
(登録料は無料、通信費は別途必要です。)

ビワテクポイントをためよう！

がん検診を受けて、健康推進アプリ「BIWA-TEKU」でポイントをためよう！！ホテルのランチ券などの商品に応募できます。詳細はQRコードから！（登録料は無料、アプリ利用等にかかる通信費は別途必要です。）



今年度 50、54、60、64、68 歳 になるあなたへ
～大津市がん検診受診券をお送りします～

がんは早期発見することで 9割が治ります

近年では、**2人に1人**ががんになるといわれています。
早期発見・早期治療のために、定期的に検診を受診することが大切です。
職場等でがん検診を受ける機会のない人は、大津市がん検診を受けましょう。

受診券の使い方

- 1 検診を予約します。
大腸がん検診、肺がん結核検診、胃がん検診（胃内視鏡検査）は実施機関へ、胃がん検診（胃部エックス線検査）は健康推進課へお申し込みください。
- 2 予約日に検診を受けます。受診券は受付でお渡しください。

ご注意ください！

※受診券は、宛名に記載されているご本人様のみ利用できます。
※大津市から転出された場合はご利用いただけません。
※検診を受ける部位に自覚症状がある人、治療中・経過観察中の人は受けられません。
※既に今年度受診した人は、行き違いですのでご注意ください。

検診の受診機会を提供するためのご案内ですが、諸事情により検診を受けられないなどでご不快に思われましたら、心よりお詫び申し上げます。

大津市がん検診のご案内

～大腸がん検診～



- 検診内容：便潜血検査（2日法）
- 実施場所：実施機関
- 予約方法：直接実施機関へ

～肺がん結核検診～

- 検診内容：胸部エックス線検査、喀痰細胞診※
※喫煙指数（1日喫煙本数×喫煙年数）が600以上の人
- 実施場所：実施機関
- 予約方法：直接実施機関へ



～胃がん検診～

- 検診内容： どちらかの検査を選択してください。
①バリウムによる胃部エックス線検査
②胃内視鏡検査（胃カメラ）
- 実施場所：①検診車による集団検診（大津市内）
②実施機関
- 予約方法：①ネット予約または健康推進課へ電話
②直接実施機関へ

胃部エックス線検査
ネット予約はこちら

各種がん検診実施機関
一覧はこちら



7

資料 2

「大津市控」 2025.2案

大津市大腸がん検診精密検査依頼書 兼 結果票

精密検査実施医療機関の長 様

大津市消化器がん検診協議会

2025/3/6資料3

大腸がん検診を実施した結果、下記の方について精密検査が必要となりました。
なお、ご多忙のところ恐れ入りますが、貴院での精密検査結果をご記入の上、保管くださいますようお願い申し上げます。

一 次 検 診 日		年		月		日		一次検診 医療機関名	
一 次 検 診 結 果								所 在 地	
1				2					
定 量 値				定 量 値					
()				()					
氏 名		(フリガナ)						生年 月 日	
		(男 ・ 女)						大正・昭和 年 月 日 (歳)	
住 所		大津市							
		(TEL: - -)							
精 密 検 査 実 施 日		年 月 日							
精 密 検 査 方 法		1. 全大腸内視鏡検査 2. その他(検査方法) (理由) ※原則、1を精密検査方法とします。2の場合は必ず検査方法及び理由を記入してください。							
病 理 検 査 の 有 無		1.あり 2.なし							
診 断 結 果		1. 異常なし 2. がん以外の疾患 潰瘍性大腸炎 ・ クロウン病 ・ 憩室 ・ 痔核 ・ 炎症性腸疾患 その他 () 3. ポリープ 腺腫性 ・ 過形成性 ・ その他 ・ 不明 → 大きさ 直径10mm未満 ・ 10mm以上 4. 大腸がんの疑い または 未確定 (精密検査結果) 5. 大腸がん 原発・転移の別 [原発性 ・ 転移性 (原発部位) ・ 浸潤] 進行期 (早期 ・ 進行 ・ 不明) 詳細 ① 0 期 (壁深達度M (Tis)) =粘膜内がん ② I 期 (壁深達度SM (T1a・T1b)) ③ I 期 (壁深達度MP (T2))、II 期、III 期、IV 期 ④ 病期不明 ※病理検査後の結果を詳細欄にご記入ください。結果が出るまで時間を要する場合は、「④病期不明」を選択し、結果が確定次第、市にご報告ください。							
治 療 方 針		1. 治療の必要なし 2. 内科的治療 3. 内視鏡的治療⇒【実施済(か月後経過観察)・実施予定(月 日)・他院紹介】 4. 内視鏡的粘膜切除術(EMR)⇒【実施済(か月後経過観察)・実施予定(月 日)・他院紹介】 5. 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)⇒【実施済(か月後経過観察)・実施予定(月 日)・他院紹介】 6. 要経過観察(か月後) 7. 外科的処置⇒【実施済・実施予定(月 日)・他院紹介】 8. その他 () 他院紹介の場合(紹介先医療機関名:)							
精密検査に伴う偶発症の有無		無 ・ 有 (入院加療を要するもの () ・ 死亡 (死因))							
今後の 検診		1. 次年度から市町検診を受診可 2. (年後に) 医療機関受診 3. (年後に) 市町検診を受診可							
精 査 実 施 医 療 機 関		所 在 地 医 療 機 関 名 電 話 医 師 氏 名							

※精密検査結果票は、精密検査初診後3か月以内にご返送ください。途中経過でもその段階の結果をご記入くださるようお願いします。
[精密検査医療機関控] 2025.2案

大腸がん検診における検体の取り扱いについて（報告事項）

1 便潜血検査 2 日法の明示について

便潜血検査 2 日法を市の検診では採用しているため、「1 本目の検体で陽性となる数値が出ていても、提出された検体が 1 本のみの場合は大津市の検診として受理しない」という旨を仕様書や、検診実施機関送付用の注意・依頼事項に記載する。

2 採便方法に関する取扱の整理について

現在、大津市の仕様書では便潜血検査は、免疫便潜血検査 2 日法、OC センサー方式、採便用具はスティックとするとしており、受診者に対しては「便潜血検査（2 日法です）。2 日分の便を採取し、血液が混ざっていないかを調べる」と周知している。1 日で 2 検体を採便した方については、大津市の検診では受理できないとしているが、精度管理上、許容範囲と考えられるため、仕様の見直しを行う。

●がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

（別添 7 がん検診に関する自治体からの照会及び回答 Q33）

原則違う日に採取するべきであるが、次善の策として、同一日でも別の採便であれば許容される。1 本目と 2 本目の間隔は特に規定されていない。

- 大腸がん検診マニュアル：1 つの便から 2 回採便する 1 日 2 回法は有効性が明確に示されたものではなく、積極的には推奨はされていない。

<仕様に記載する内容>

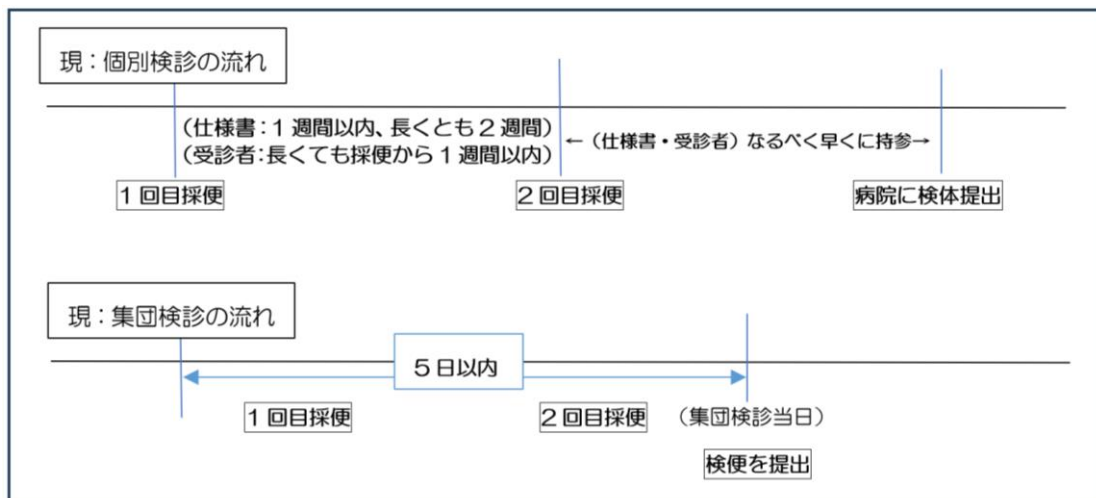
大津市では、原則 2 日分の便とする。次善の策として、同一日で 2 回分の採便も可とする。ただし、必ず別の排便から採取した検体であることとし、同一の便からの採取は不可とする。

令和 7 年度大腸がん検診実施体制について（協議事項）

<採便間隔について>

現在、大津市の仕様では、採便間隔について個別検診では「採便間隔は、おおむね 1 週間以内、長くとも 2 週間を限度とする。」としており、受診者に対しては、「長くとも採便から 1 週間以内に医療機関に提出する」よう、周知している。

また、集団検診では「5 日以内に 2 日分の便を採取する」よう、周知している。採便間隔は最長 2 週間を認めている状況であるが、2 本まとめて検診機関に提出される場合、精度管理上問題があるのではないと思われるため、改めて、仕様の確認を行う。

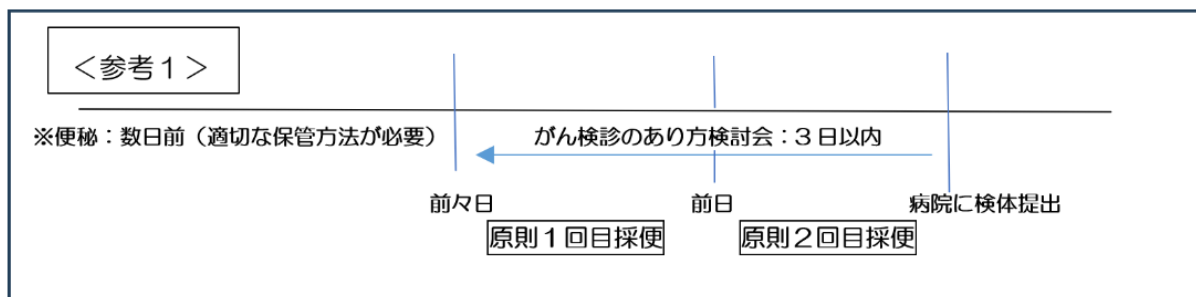


<参考 1：マニュアル等の記載内容>

- 大腸がん検診マニュアル：採便はできるだけ検体提出日に近いものが望ましく、原則として当日か前日、あるいは前々日のものを用いる。便秘があり前日の採便が困難と予想される際は、数日前の便から採便することは許容される。しかし、適切な保管方法で保管する必要がある。

※保管方法について…保存温度 4℃では 21 日間程度は有意な失活はない（外国の参考文献）

- がん検診のあり方検討会：検便採取後原則当日と前日の便を提出すること。高度な便秘や回収のタイミングが合わないなどの場合は 3 日以内でも許容される。Q 3 2

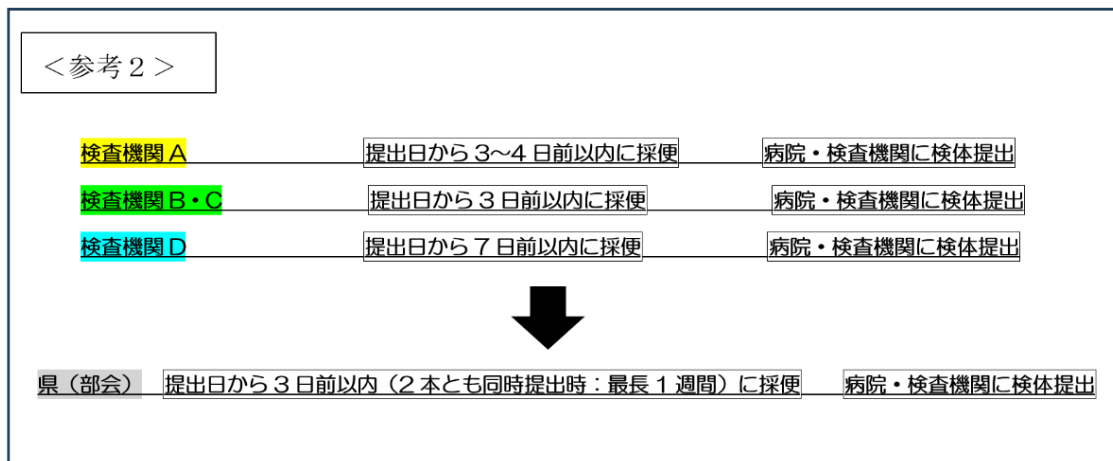


<参考 2：滋賀県及び検査機関への聞き取りの結果>

- 滋賀県（部会）：基本的には大腸がん検診マニュアルに準拠し、医療機関に検体を提出するまでを原則 3 日以内とする。ただし、2 本まとめてでなければ検体を受け取らないとしている医療機関であれば、2 本まとめて 1 週間以内に提出するのであれば許容範囲である。

いずれも精度を保つためには保存方法を遵守し、冷所での保管が必要である。

- 検査機関 A：採便自体の間隔は規定なし。それぞれの医療機関・検診機関の判断。
採便から検査機関 A で検査するまでの期間は 3～4 日以内となるように規定している。
- 検査機関 B：採便間隔としては 3 日以内。内部で検査までしていた時は回収日に検査していた。
- 検査機関 C：3 日以内の採便であれば検査の対象として回収している。
- 検査機関 D：7 日以内の採便であれば回収している。（メーカーの仕様として、7 日とされている）



【今後の大津市の方針】

→原則 3 日以内の提出とするが、2 本まとめて提出する際は 1 回目の採便の日から 1 週間以内に合わせて提出する。また、1 回目と 2 回目の採便間隔は 1 週間までとする。1 回目の採便から提出まで 1 週間を超える場合は再検査または市の検診の対象外としてもよい。

